

カツベン!

12.13 ROAD SHOW

監督:周防正行
 出演:成田凌、黒島結菜、
 永瀬正敏、高良健吾、音尾琢真、
 竹中直人、渡辺えり、
 井上真央、小日向文世、竹野内豊 ほか

作品介绍

一流の活動弁士を夢見る青年・俊太郎(成田凌)は、小さな町の映画館「青木館」に流れつく。隣のライバル映画館に客も人材も取られて閉古鳥の鳴く青木館に残ったのは曲者揃いの人ばかり。雑用ばかり任される俊太郎の前に突如現れる大金を狙う泥棒、泥棒とニセ活動弁士を追う警察、そして幼なじみの初恋相手!俊太郎の夢、恋、青春の行方は…!俊太郎の活弁が響き渡る時、世紀のエンターテイナーの物語がはじまる。



©2019「カツベン!」製作委員会

県内ロケ情報

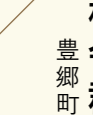


三井寺 大津市

三井寺では主役の染谷俊太郎(成田凌)や、泥棒一味のボス安田虎夫(音尾琢真)、刑事の木村忠義(竹野内豊)らが自転車や人力車で追いつ追われつ、ハラハラドキドキするシーンや、劇用車のトラックから振り落とされるアクションシーン等が撮影されました。

秋の紅葉シーズンで観光客が多い中ではありましたが、三井寺様のご協力のおかげで撮影させていただくことができました。

県内ロケ情報



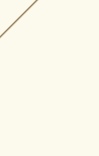
豊郷小学校 豊郷町



豊郷小学校旧校舎群の講堂では、大正時代のある映画館の設定で弁士の茂木貴之(高良健吾)が弁士として登場し、活弁を披露するシーン等のロケが行われました。

多数のエキストラの皆様にご観客として出演して頂いたほか、楽器経験のある方には当時の無声映画に合わせて演奏する楽士役でも参加して頂きました。

県内ロケ情報



八幡堀 近江八幡市



八幡堀では、主人公の幼なじみ・栗原梅子(黒島結菜)が久しぶりに再会を果たした染谷俊太郎との会話シーン等が撮影されました。

八幡堀の絶好のロケーションに、揺れ動く二人の想いがマッチしていたと思います。



滋賀ロケーションオフィス NEWS



©2019「決算!忠臣蔵」製作委員会

決算!忠臣蔵

11月22日(金)全国公開

監督・脚本:中村義洋
 出演:堤真一、岡村隆史、濱田岳、横山裕、
 荒川良々、妻夫木聡、石原さとみ ほか
 原作:山本博文『「忠臣蔵」の決算書』
 (新潮新書刊)



作品介绍

これまで映像化された作品は300本超え!日本の冬の風物詩【忠臣蔵】に、日本を代表する豪華キャストと制作陣が挑みます。大石内蔵助が実際に書き残した決算書を基に、討ち入り計画の全てをお金の側面から描く本作。理想は高いが、予算を前に厳しい現実を突き付けられる筆頭家老の大石内蔵助(堤真一)が、勘定方の矢頭長助(岡村隆史)の力を借りて、一大プロジェクト【仇討】を無事に【決算】させるため、節約やリストラなど、300年前に実在した赤穂浪士が右往左往する様は、現代の私たちとなら変わりありません。笑って泣ける予算達成エンタテインメント!乞うご期待!

県内ロケ情報



彦根城・埋木舎 彦根市



彦根城天秤櫓



埋木舎



彦根城の中堀に面した屋敷の埋木舎の前の道では、物語冒頭の屋台のそば屋に大石内蔵助(堤真一)が走ってくるシーンが撮影されました。そばの屋台を設置するため、道を車両通行止にしなければなりませんでした。地元の方にご理解ご協力いただき撮影することができました。

また、彦根城の太鼓櫓から下って行く階段、天秤櫓では、大垣城の設定で、内蔵助が城から出ていくシーンが撮影されました。

県内ロケ情報



八幡堀 近江八幡市



内蔵助(堤真一)がどんちゃん騒ぎする遊郭の表回りの設定で、不破数右衛門(横山裕)と大高源五(濱田岳)が遊郭を見上げて会話するシーン、その後に内蔵助が怒って遊郭を飛び出していくシーンが撮影されました。後者のシーンでは、数右衛門は、もつれあって水路に落ちますが、撮影が行われたのは2月、厳寒の中での過酷なロケとなりました。

協賛企業一覧 (50音順 敬称略)

私たちは、滋賀の素晴らしい風景や歴史文化などを全国に発信する滋賀ロケーションオフィスの活動を応援しています。

アレックスシネマ大津・水口、(株)R&P、(株)井筒屋、今津サンブリッジホテル、(株)NYS、近江タクシー(株)、近江鉄道(株)、有限会社菓子長、(株)関西みらい銀行、北ビワコホテルグラツィエ、(株)GALLERY空、草津第一ホテル、クリーンビューティー山本、(株)紅花、甲賀高分子(株)、コンフォートホテル彦根・コンフォートイン近江八幡・コンフォートイン八日市、(株)滋賀銀行、滋賀建機(株)、滋賀県興行協会、滋賀県信用保証協会、白浜荘、(株)千成亭、(株)中央精器 滋賀支店、(株)ティーウイング、(株)TMオフィス、(株)tuc、東横イン京都琵琶湖大津、(株)トヨタレンタリース滋賀、(株)南洋軒、光交通社(株)、ひこねステーションホテル、びわ湖大津プリンスホテル、琵琶湖汽船(株)、琵琶湖グランドホテル、びわ湖放送(株)、(株)福月、(株)平和堂、ホテルニューオウミ、ホテルルートイン彦根・長浜インター・東近江八日市駅前・甲賀水口、YOU and ME、(株)結喜、ランチサービスポポロ、ラーメン桃李路、ロイヤルオークホテル スパ&ガーデンズ

発行:滋賀ロケーションオフィス
 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号(滋賀県商工観光労働部観光振興局内)
 TEL:077-528-3745 FAX:077-527-7329
 E-mail:info@shiga-location.jp URL:http://www.shiga-location.jp
 サポーター登録者数 4598人(令和元年9月末現在)

滋賀県内ロケやエキストラ募集などの情報はこちら



http://www.shiga-location.jp

滋賀ロケーションオフィス 検索



滋賀ロケーションオフィスFacebook
 @shiga.location.office



滋賀県・信楽が舞台の連続テレビ「スカーレット」、そのロケのほとんどが滋賀県内で行われました！



琵琶湖 物語の冒頭で川原家が大阪から滋賀にやってきたとき、信楽に行く前に琵琶湖を訪れるシーンが撮影されました。昭和20年代の設定なので、現代物の少ない場所を琵琶湖を何周も回って探したロケ地です。



タヌキの道 「たぬきの置物」がある通称「タヌキの道」という信楽の田舎道の設定で、大阪から一家がやってくるシーンや通学路のシーンなど、象徴的な場所としてドラマの中で何度も登場します。



夕陽のきれいな場所 15歳になった喜美子(戸田恵梨香)が仕事のために信楽から大阪へ旅立つ前に信楽焼のカケラを見つけ、きれいな夕陽を目に焼き付け、大阪で頑張る決意をする印象的なシーンが撮影されました。



照子と信作の通う高校 照子(大島優子)と信作(林遣都)の通う信楽の高校のシーンが撮影されました。



丸熊陶業 物語に登場する信楽一の窯元で、照子の実家でもある「丸熊陶業」として、通勤風景や作業風景など様々なシーンが信楽にある実際の窯元で撮影されました。



川原家・前の道 曲がりくねった道とまっすぐ伸びた木が印象的なこの場所は、「川原家・前の道」として門柱などが設営され、様々なシーンが撮影されてドラマ中に何度も登場します。



木々に囲まれた滝のほとりや 池のほとりの大きな木の下で

この他にも滋賀の多くの場所でロケが行われました！

朝ドラ常連の名脇役!?

「丸熊陶業」の通勤風景には、牛が登場しますが、この牛は日野町にある滋賀県立の家畜試験研究所「滋賀県畜産技術振興センター」の「くろん」ちゃん。実は、エキストラ出演作品多数で、連続テレビ小説では昨年の「まんぶく」に続いてのご出演です。



同センター内にある「ふれあい広場」では、自然いっぱいの広々とした環境の中、ポニー・羊・うさぎ・牛などの動物と触れ合えるようになっており、身近な自然体験の場として親しまれています。



連続テレビ小説

スカーレット

- **放送予定**: 2019年9月30日(月)～2020年3月28日(土)全150回
毎週(月)～(土)NHK総合午前8:00～8:15ほか
- **作**: 水橋文美江 ● **音楽**: 冬野ユミ
- **出演**: 戸田恵梨香、北村一輝、富田靖子、大島優子、林遣都、佐藤隆太 ほか
- **物語**: 連続テレビ小説101作目は、究極の働き女子。焼き物の里・信楽を舞台に女性陶芸家の波乱万丈な人生を描きます。自分のため、大切な人のため、行動あるのみ!モノを作り出す情熱と喜びを糧にがむしゃらな強さと天性の明るさで、懸命に創り、育て、働く女性のオリジナルストーリー。



スカーレット制作者から “滋賀でのロケについて”コメントをいただきました!



スカーレット制作統括 内田ゆきさん

連続テレビ小説「スカーレット」の題材を決めたのは、昨年の秋のことでした。滋賀県・信楽を舞台とした、女性陶芸家の半生の物語。まだ題名も決まっていませんでしたが、さっそくロケハンと取材に取り掛かりました。
ロケはできるだけ滋賀県内で、そして地元と一体となった制作をさせて頂きたい、と、大方針を立てて、滋賀ロケーションオフィスと、各自治体のお力を借りながら、昭和20年代の景色を探していきました。おかげさまで、ほとんどのロケを、滋賀県内で行うことができました。
中でも苦労したのは、物語の冒頭の琵琶湖のロケ場所です。

シーンの設定に沿って、現代の建物がなく、広々とした海と見まがうような風景を求めて、琵琶湖の周りをほとんど一周して頂いたとお聞きしています。長浜市の、素晴らしいロケ地に恵まれましたが、撮影当日は4月にも関わらず、みぞれが降る寒さ。雪と雨が奇跡的に止んで、ヒロインの子ども時代を演じる川島夕空さんの「海やあ!」の音が響いたときは、ほっとしました。
信楽をはじめとした各地域の方には、本当に温かいご支援を頂いて、ヒロインならずとも、まるで故郷で撮影しているようでした。スカーレットを見て、滋賀のフォトジェニックな風景にお気づきいただけたら、嬉しいです。